

R7 年 11 月 さくら組ドキュメンテーション『友達と一緒に遊ぶ』

車とプラレールを用意すると、A 君がひとりでプラレールを全て繋げて遊んでいた。



それに興味を示した B 君が近づき、ふたりはプラレールの上に車を乗せて遊び始める。A 君と B 君は時々車の取り合いになりながらも、「それは今 A 君が使っているから、B 君はこっちにしようか」など保育士の仲立ちを受けて、最終的にはふたりで全ての車をプラレールに乗せて喜んでいた。



☆考察☆

友達の遊びに興味をもつ姿や、友達の遊びを真似する姿が増えた子どもたち。
しかし、2 歳児はまだ「個々で遊んでいる」という意識が強いため、玩具や場所の取り合いが生じることがある→常に周りの大人が見守りつつ仲立ちをしている。
このような経験を重ねて、「友達と一緒に遊んでいる」という意識や、「友達と一緒に遊ぶことは楽しい」という気持ちが育っていくと考えられる。